



# ふるさと

昭和58年1月  
●編集・発行  
柏市増尾近隣センター運営委員会・広報部  
増尾近隣センター  
〒277 柏市増尾1614番 ☎(74)7211

## No. 6

# 謹賀新年

増尾城趾より広幡八幡宮を望む 撮影：委員長 吉田 稔氏

## 新年のご挨拶

運営委員長 吉田 稔

明けましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのこと、お慶び申し上げます。

地域における住民相互の交流を計り、併せて心豊かな「ふるさと」づくりをする為の拠点として建設された増尾近隣センターも、開館いたしました。早や二年目の新年を迎えることが出来ました。

これ偏に、地域の多くの皆様方のご支援と、ご協力の賜物と委員一同御礼申し上げます。

さて、運営委員会には、文化部、保健体育部、福祉部、広報部の四つの部がございます。文化部におきましては、各種講座の開催をはじめ、小中学校、一般の方々のご協力を賜わりながら、秋に文化祭を開催させていただきました。

これからの行事といたしましては、お茶の講座、新年囲碁将棋大会等が計画されております。

次に保健体育部でございます。

が、バレーボール部、卓球部、バドミントン部、美容体操部の四つの部からなり、体育館の団体、個人の利用区分帯により効率的に体育館が運用され、体力の向上を通じて「ふれあい」を計ると共に、春季には体育館全体による春期大会、をはじめ秋には、球技祭等を行ない平素の練習の成果を発表する祭典が行なわれました。其の他救急講座を開催すると共に正月には、地域における一般、子供を対象とした卓球大会が行なわれます。

福祉部といたしましては、運動広場完成記念テニートボール大会、又十月の球技祭にはゲートボール大会を開催し各老人会相互の技術の向上と「ふれあい」に役立させていただきました。

今後老人会の役員の方々と協議いたしまして、老人芸能大会を開催いたすことになっております。

広報部といたしましては、各行

事内容の記録写真の撮影並びに広報ふるさと発行を通じ地域住民相互の「ふれあい」に微力を尽させていただきます。

以上運営委員会の概要について申し述べさせていただきます。

近隣センターのよりよい運営、よりよい「ふるさとづくり」は地域の多くの皆様方と、市と、運営委員会の協働によって実を結ぶものと考えております。

この近隣センターを、より多くの方々が、より効率的に利用することによって、お互が「ふれあい」を増すと共に、この地域への愛着心を深め、連帯と参加のふるさとづくりが、より推進され、思いやりと親しみのある、心と血の通った地域生活と、本当にこの地域に住んでよかったという、まっすぐに、皆様と共に努力したいと思っております。

年の初めに当り所感の一端を申し上げますと共に、皆様方のご健康と、ご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶いたします。

## 明けましておめでとうございます 増尾近隣センター運営委員

- |        |              |
|--------|--------------|
| 委員長    | (増尾町会長)      |
| 副委員長   | (加賀町会長)      |
| 事務局 局長 | (名戸ヶ谷町会長)    |
| 事務局 次長 | (松野台自治会副会長)  |
| 事務局 次長 | (増尾東映第二自治会)  |
| 事務局 次長 | (グリーン団地町内会長) |
| 事務局 次長 | (葉貫台町会長)     |
| 事務局 次長 | (柏サンハイツ自治会長) |
| 事務局 次長 | (増尾東映自治会長)   |
| 事務局 次長 | (木戸前町会長)     |
| 事務局 次長 | (副委員長兼務)     |
| 事務局 次長 | (第一住宅自治会長)   |
| 事務局 次長 | (藤心町会長)      |
| 事務局 次長 | (藤心第三町会長)    |
| 事務局 次長 | (藤心第二町会長)    |
| 事務局 次長 | (南ヶ丘自治会長)    |
| 事務局 次長 | (あさみ町会長)     |
| 事務局 次長 | (白鷺町会)       |

- |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 吉田 稔 | 塚田 裕 | 木村 秀 | 木村 直 | 帯刀 治 | 谷口 梅 | 山本 実 | 島田 定 | 筒井 健 | 有馬 一 | 小川 明 | 塚田 裕 | 岡田 敬 | 金子 温 | 上田 恵 | 戸村 善 | 鈴木 英 | 渋谷 美 | 岡田 実 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|

### 増尾近隣センター使用時間区分帯

区分	体 育 館				本 館			
	時間	9:00~12:00	12:00~15:00	15:00~18:00	18:00~21:00	9:00~12:30	12:30~17:00	17:00~21:00
曜日								
火曜日				個人		団体 (各種サークル活動)		
水曜日				個人 17:00				
木曜日		保健体育部		個人				
金曜日				個人 17:00				
土曜日				個人				
日曜日	個人 (第4日曜日は柔道)			個人 17:00				

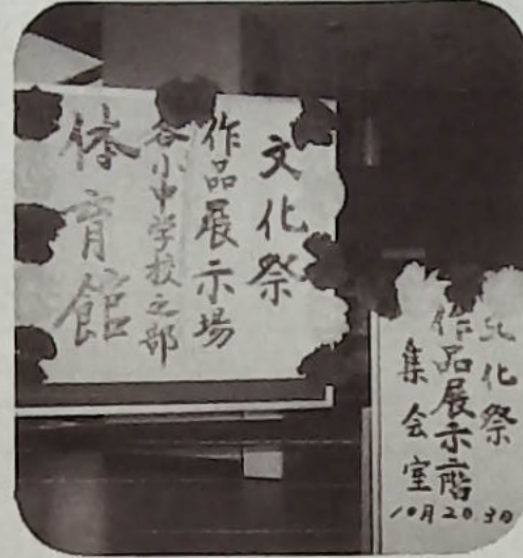
#### 【備 考】

- (1)市及び運営協議会が主催する行事、又は、運営委員会がみとめたものについては、使用時間区分帯にかかわらず優先使用となります。
- (2)使用時間の区分帯は、原則として団体使用は3時間以内とし、個人使用は2時間以内とします。
- (3)開館時間は、午前9時から午後5時まで。但し、火・木・土曜日については午後9時までとします。
- (4)休館日は、月曜日及び祝日の翌日、年末年始(12月28日から翌年1月4日)、その他臨時に休館日を変更することがあります。
- (5)使用申し込みの受け付けは、団体については使用の1ヶ月前から2日前まで、個人は予約できません。  
(当日受付順の使用となります。)

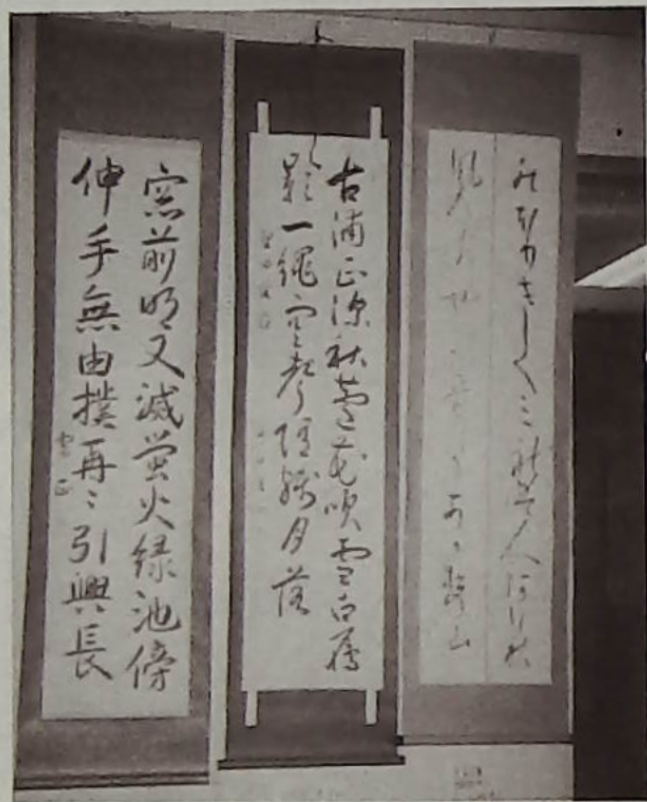
# 和気あいあい



すばらしい作品がいっぱいの展示場



サークル活動、町会行事あるいは文化講座



みごとなお手前

**文化祭開く**  
 10月2・3日の両日、センター体育館を会場に第2回文化祭が開催されました。  
 日頃サークルなどで腕をあげられた、パンフラー、きめ込み人形、盤景、書道、絵画など多数の作品が展示され、お茶席も開かれ楽しい二日間でした。

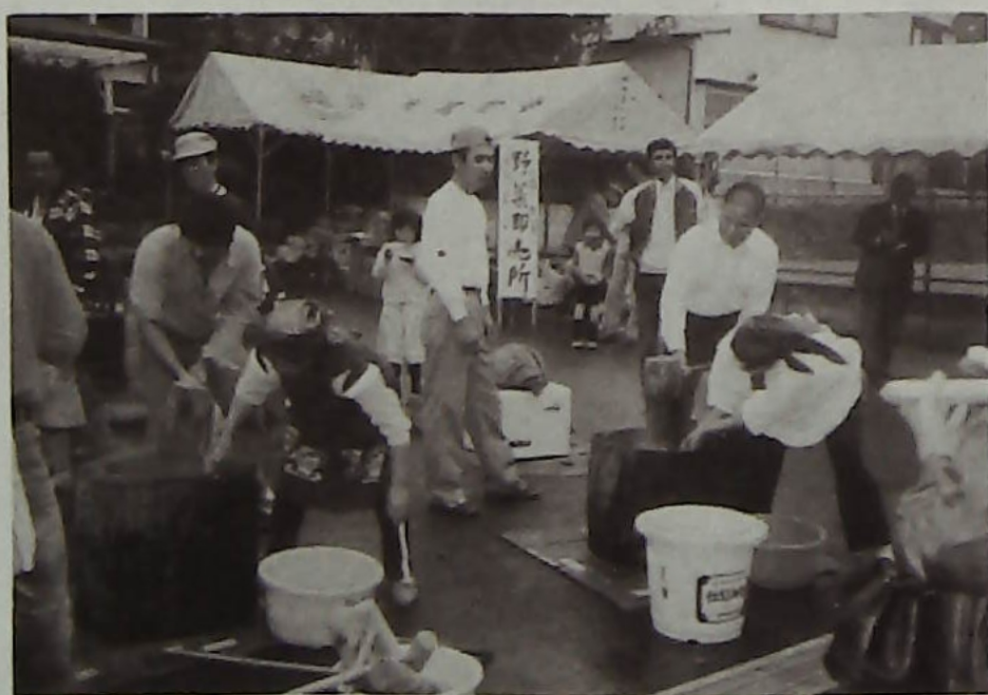
出展作品も年々増加



体育館壁面いっぱいの小中学生の作品



いつまでもお健やかに 土地区敬老会(10月3日)



どちらのお餅がおいしいかな



趣向をこらした模擬店も

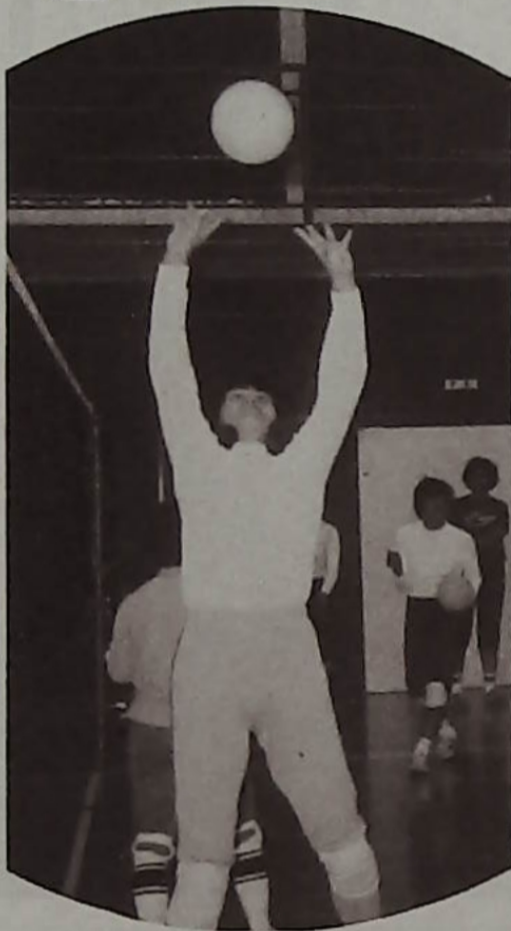
**ふれ合いの集いの「コマ**  
 三世代がお互いに交流を図る行事です。今年はぜひあなたも参加を

11月7日

# ふれあい広場



年(4月~12月)は41,887人に利用されました



トス練習に余念のない試合前



闘志を内に秘め入場行進



球技祭は11月24日(日)日頃ク  
ラブ活動として練習しているバ  
ーボール、卓球、バドミントン、  
美容体操、そして今大会からお年  
寄りの方々によるゲートボールも  
新たに競技種目に取り入れられ予  
選からの参加者は七百人に五種目  
の熱戦がくりひろげられ、結果は  
表のとおりです。  
競技が終了した後、参加者全員で  
楽しくゲームをし、ふれあいの輪  
がひろめられました。

ふれあいの球技祭  
11月24日

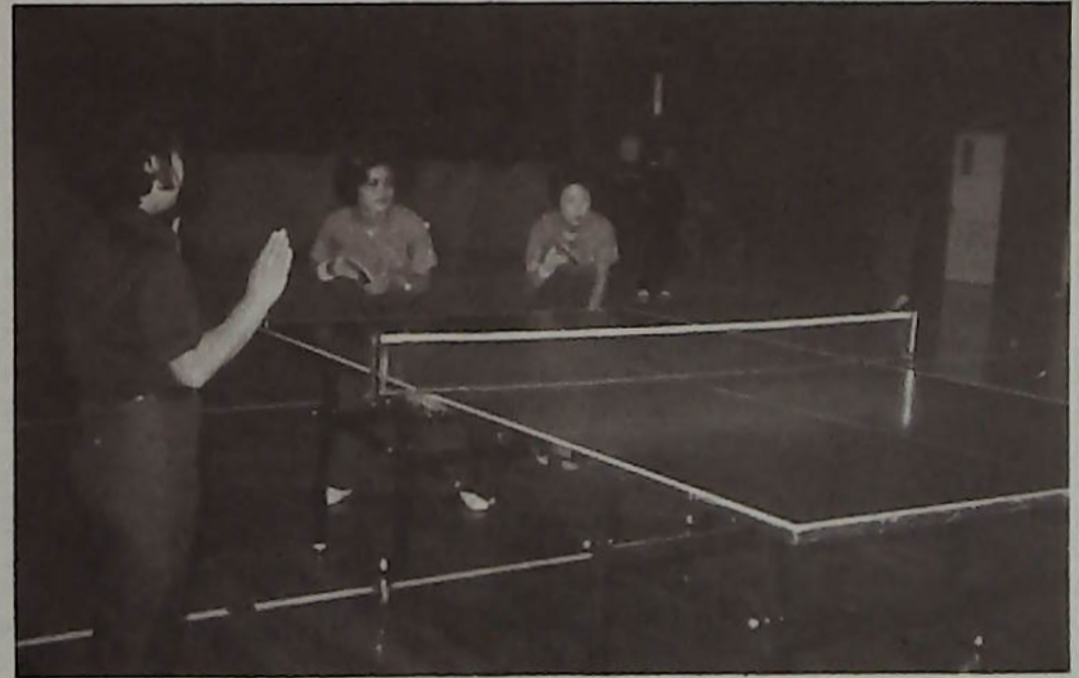


◀ ギャラリー注目、エイっ!!

種 目	優 勝	準 優 勝	三 位
バレーボール	柏 酒 井 根	は く し ん	増 尾 A
卓 球	八 幡 都 紀 子 組 長 谷 川 静 恵	菊 川 テル 子 組 堀 口 育 子	細 川 満 里 子 組 田 中 千 代 子
バドミントン	鹿 志 村 由 紀 子 組 金 子 純 子	佐 久 間 香 組 齊 藤 君 子	井 手 口 成 智 子 組 鈴 木 祐 理 子
ゲートボール	藤 心 寿 クラブ	松 野 台 緑 寿 会	柏 藤 会



時ならぬ国際親善、トランスから高校生の一行。  
センターでのひととき(7月30日)



卓球ダブルス戦  
優勝の八幡(右)長谷川(左)組



茶道講座受講者募集(表千家)  
文化部では、次のおり茶道を  
初歩から始める方のため、五回連  
続で講座を開催します。  
○とき 1月20日、2月3日、2月17  
日、3月3日、3月17日の5日間、い  
ずれも木曜日の午前10時から正午まで  
○定員 20名 ○ところ 増尾近隣  
センター ○費用 千円  
○申し込み 1月14日(金) 午前9  
時から増尾近隣センターへ費用を添え  
て直接に  
○問い合わせ 文化部塚田香(78788)

新春の催しもののお知らせ

体育部

卓球大会

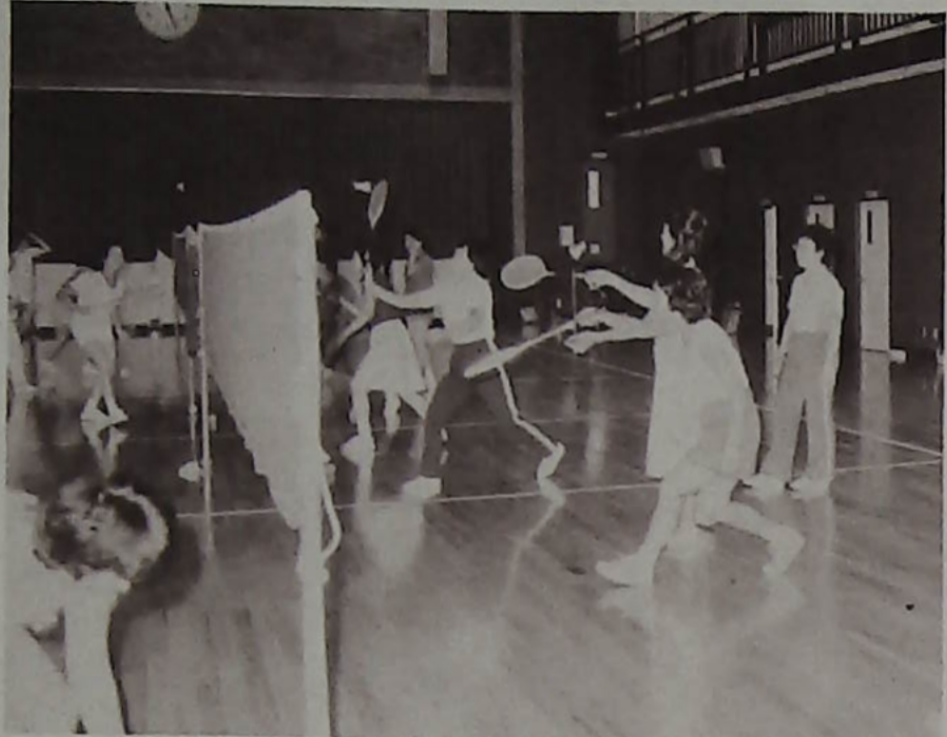
1月9日(日)



新春の一日、小学4年生以上を対象とした卓球大会を開催します。元気がいっぱいの子供の、また日頃楽しみにしている方達の試合をどうぞご家族づれでご覧ください。
○とき 1月9日(日) 午前9時30分試合開始

クラブ紹介 バドミントン部

増尾近隣センターバドミントンクラブは、昨年九月に体育部の一つとして結成され、毎週一回クラブ活動とし、健康増進と部員相互の親睦を図っています。
バドミントンは、若者男女を問わず出来る手軽なスポーツとして親しまれていますが、実際にプレイすると、きめられたコートの中でシャトル(羽根)を自分の思い



練習に汗を流すママさん達

文化部

囲碁・将棋大会

1月30日(日)



ウーム.....(昨年の大会から)

今年も日頃自慢の腕前を競って見ようではありませんか。
第一回大会(昨年)は大変楽しい一日で、毎月でもとの声も出ましたが、やっと第二回を開催することになりました。
少年からお年寄りまで、一人でも多く御参加下さいお待ちしております。
みんなで集まって、月例会になるように氣勢をあげましょう。
○日時 1月30日(日) 9時~4時
○会場 増尾近隣センター和室
○対象 増尾近隣センター地域内の方ならどなたでも
○参加費 一人三百円
○申込み 1月14日(金)~23日(日)までに参加費を添えて直接センターまで。
○問い合わせ 文化部長塚田 番(07)七八八〇まで

福祉部

土地区老人クラブ

芸能大会のお知らせ

土地区の老人クラブでは、もう恒例になりました芸能大会を今年もセンター体育館で三月中旬に開催いたします。
日頃歌や踊りに研鑽を重ねている多数のお年寄りにご出演いただき楽しい発表会にしたいと思っております。発表は、一クラブ三種類の予定で計画中です。
昨年は、三月十四日(日)、日頃の練習の成果を発揮し、歌に踊りにお年寄りの元気いっぱい演技を披露して見物席からも盛んな拍手が送られました。また、特別出演として、市役所の岩井福祉部長の飛入りでカラオケを歌って芸能大会を盛り上げ、最後に千葉県老連音頭を全員で踊り盛會裡に閉会いたしました。
今年も、楽しく実りある発表会にしたいと思っておりますので、ご出演ください。追って各老人クラブを通じてご通知します。



どの子にも、愛の一声ふるさと柏

青少年健全育成

土地区会長 酒巻 昭夫

六月の総会にて青少年協の会長をお受けしてから、はや半年が過ぎました。その間、土中、土小、増尾西小、の校長先生をはじめ、当地区の町会長、民生委員子供会長、青少年相談員、各学校のPTAのご協力を得て七月には生徒指導の先生方による講演会と映画の会を、また十一月には補導員の指導にて合同パトロールを実施しました。
パトロールは、危険箇所や遊び場の安全性などを点検の上で三校がお互いに情報を交換し、確認し合いました。
おかげで、行動範囲の広い生徒や児童の安全への配慮が学校単位の地区に留まらず、他校地域の状況までつぶさに把握できるようになりました。
今、私共が育てている青少年がやがては二十一世紀を担っていくのです。健やかな青少年の育成は大きな遺産になると思われまます。この青少年のため、なすべき課題はたくさん残っています。地区の皆様のご深いご理解と協力をこれからもお願いいたします。

利用状況

(57.4~57.12)

種目	人数
本館	
会議	2,961
料理	1,199
民謡・民舞	835
俳句	831
研究会	40
読書会	160
公民館	850
近隣センター	115
市役所	3,383
その他	789
その他	5,305
その他	1,911
体育館	
バレーボール	5,738
バドミントン	3,364
卓球	9,338
美容体操	4,033
その他	200
合計	41,887

公民館

お盆の中に、色砂を入れたり、松を植えたりして、あなたの好きな風景を作ってみませんか。
増尾公民館では盆豊教室を行います。希望者はお早めに！
○日時 1月20日(木)~3月10日(木) 隔週木曜日 計5回 午後1時~4時
○会場 増尾近隣センター
○対象 増尾近隣センター地域の方 先着20名
○費用 六千円
○申込み 1月13日(木)午前10時から費用を添えて直接増尾近隣センターへ申込みしてください。
○問合せ 同センター 741-7211へ。



あとがき

新年おめでとうございます。
昨年は、各種行事について地域の皆様のご協力をいただき盛會のうちに実施できましたことに感謝しご報告申し上げます。
なお、右にセンターを中心に地域の地図を載せましたが、広報紙「ふるさと」も紙面による交流、親睦の場として、センターを中心とする地域の行事、各種文芸、随想等のご寄稿をお待ちしております。

広報部長

鈴木善藏

